

令和7年度 1年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	2単位 (3コマ)	履修年次	1年次		
科目名	言語文化	履修	必履修(共通)	開講	通年		
教科書	高等学校 精選 言語文化(第一学習社)	副教材	「Key&Point古文単語330」四訂版(いっずな書店) 「体系古典文法」九訂版 (数研出版) 「漢文学習必携」三訂版増補版 (京都書房)				
1 学習の目標							
伝統的な言語文化に対する理解を深め、言語活動を通して論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸長し、他者との関わりの中で伝え合う力を高めながら適切かつ効果的に表現する能力を育成する。							
2 学習の方法							
<p>①授業について 授業は週3コマで、講義形式の他、ペアワーク・グループワークなど適宜実施する。</p> <p>②クラスについて 授業はHR単位で行い、内容によっては特別教室を使用する。</p> <p>③ノートについて 専用のノートを用意し、板書やメモを各自で記録・整理すること。 配布されたプリント類は、ファイル等を準備して綴じ込み整理すること。</p> <p>④小テストについて 古文単語や単元の内容について、理解の定着を確認するため、適宜実施する。</p> <p>⑤授業の際に必要な物 教科書・ノート・ファイルを毎時間用意する。副教材については別途指示。 PC・タブレット等を必要に応じて使用する。</p>							
3 評価について							
①評価の観点							
知識・技能	・我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、必要な国語の知識や技能を身に付け、他の学習や社会生活に活用することができる。						
思考・判断・表現	・課題に対して情報を収集、分析し、身に付けた知識や技能と関連付けながら、他者との関わりの中で考えを深め、論理的に表現することができる。						
主体的に学習に取り組む態度	・課題を解決するために、主体的かつ協働的に取り組み、自らの学習状況を把握した上で試行錯誤しながら学び続けることができる。						
②評価の方法							
観点	材料	定期 考査	小 テスト	課題	ノート・ ワーク シート等	グループ ワーク	評価方法
知識・技能		○	○				単元ごとに身に付けなければならない知識や、それを活用して答える技能を、考査等によって評価する。
思考・判断・表現		○			○	○	課題に対しての情報の収集と分析、導かれた結論に至る論理的思考力、発表時の表現力を評価する。
主体的に学習に取り組む態度				○	○	○	授業及び課題、ワークシート、グループワーク、発表等における主体的・協働的取り組みを評価する。
4 その他							
<p>○ 主体的に学習に向かう姿勢を求めます。「教えられる」ではなく、「学ぶ」よう努めてください。</p> <p>○ 「知識」を「活用」して「自ら考える」学習をしてください。</p>							

5 単元の目標・評価						
単元名	古文入門					
単元の目標	わが国の言語文化への理解を深めるために、歴史的仮名遣いや品詞等、文語のきまりについて理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	古典の世界を理解するために、必要な品詞や文語のきまり、特有の表現などについて理解を深めている。		内容を的確に解釈し、作品に表れているものの見方や考え方を捉えてまとめることができる。		高校での古文学習に見通しを持ち、我が国の言語文化への興味・関心を深めようとしている。	
単元名	随筆(一)					
単元の目標	随筆という文章の特徴を捉え、作者の感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	用言について習熟するとともに、基本的な助動詞の用法について理解している。		類聚的章段を通して当時の人々の感覚や興味の対象について知り、ものの見方・考え方を理解している。		進んで随筆の特徴を理解し、学習の見通しを持って取り組んでいる。	
単元名	漢文入門					
単元の目標	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	漢文と日本語の構造の違いと、訓読のためのきまりを理解し、正しく音読したり書き下したりすることができる。		内容を的確に解釈し、作品に表れているものの見方や考え方を捉えてまとめることができる。		高校での漢文学習に見通しを持ち、我が国の言語文化への興味・関心を深めようとしている。	
単元名	故事成語					
単元の目標	漢文の訓読に慣れるとともに、古典の言葉と現在使われている言葉にはつながりがあることを知る。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	基本的な句法を理解し、正しく書き下し現代語訳することができる。		故事成語の意味を、文章の内容を踏まえて考え、自身の文章の中に生かすことができる。		進んで寓話の特徴を理解し、他の故事成語についても知識を広げようとしている。	

単元名	小説(一)					
単元の目標	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解を深める。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	小説の読解に必要な用語と定義を理解し、活用して読むことができる。 常用漢字、語彙、文学史等について理解し、活用、説明することができる。		典拠となった『今昔物語集』の説話と読み比べたり、作者について調べたりしながら、作品の主題を論理的に思考・判断し、表現することができる。		登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 作品の主題について情報を収集・分析し、論理的説明ができるようにしている。	

単元名	歌物語					
単元の目標	話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴や登場人物の心情を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	既習の助動詞について習熟するとともに、副詞や助詞、和歌の修辞について理解している。		歌物語における和歌の位置づけを理解し、本文の叙述をもとに解釈した上で、登場人物の心情を考えることができる。		進んで歌物語の特徴を理解し、文学史的な知識を広げようとしている。	

単元名	史伝					
単元の目標	史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた登場人物の考えや人物像を読み取る。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	句法についての知識を増やし、正しく書き下し現代語訳することができる。		当時の時代状況や本文から得られる情報を整理し、登場人物の考えや心情を考えることができる。		本文の内容を整理し、意見・疑問を積極的に考えようとしている。	

単元名	日記					
単元の目標	わが国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	日記、紀行文と『土佐日記』の文学的意義について理解している。 古典文法・語彙の知識を活用して、品詞分解しながら現代語訳ができる。		土佐日記の執筆意図について論理的に思考・判断して説明することができる。		記録としての日記とは異なる虚構性の高い日記の執筆意図などについて読み取ろうとしている。 文の構成単位を確認しながら、主体的かつ協働的に品詞分解している。	

単元名	漢詩					
単元の目標	表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、自然や人事に向けた人々の思いを読み取る。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	近体詩のきまりについて理解している。作品の歴史的・文化的背景や詩人についての知識を深めている。		限られた字数で表現された内容を、状況や作者の思いを補いながら読み詩の世界を広げることができる。		進んで詩の解釈に取り組み、自分のこととして作者の思いを読み取ろうとしている。	

単元名	和歌					
単元の目標	わが国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、それぞれの和歌の特色を捉える。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	三大和歌集について理解を深めている。和歌に用いられている文法・修辞技法の知識を活用し、品詞分解しながら現代語訳ができる。		技法、古典文法等の知識を活用して創作した和歌を発表し、互いに作品を鑑賞し合うことができる。		和歌の修辞技法を進んで理解し、知識と技能を活かして情景や心情を読み取ろうとしている。知識を活用してより良い作品を制作しようとしている。	

単元名	詩					
単元の目標	詩独特の表現技法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業者による説明の後、グループワークで理解と知識の活用定着をはかる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	詩の種類と形式を理解している。「季節」「音」「ことば」のイメージから心情を読むことができる。作者について理解している。		「蝶」について考察を深め、考えを論理的に説明することができる。		象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界と作者の心情を理解しようとしている。	

単元名						
単元の目標						
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態						
活動内容						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準						

6		年間計画				
学期	月	単元	項目	予定時数	考查	
前期	4	古文入門(1)	○古文を読むために1～3 ○『宇治拾遺物語』 児のそら寝	・万葉仮名と片仮名、平仮名の理解 ・五十音図、いろは歌の理解 ・歴史的仮名遣いの定着 ・品詞分類の理解 ・動詞の種類と活用の定着	6	前期中間 考查
	5	古文入門(2)	○『宇治拾遺物語』 絵仏師良秀 ○『竹取物語』 なよ竹のかぐや姫	・助動詞の接続の理解 ・本文での「動詞」の文法的説明の定着 ・音便、敬語の種類 ・係り結びの定着	18	
	6	随筆(一)	○『枕草子』 はしたなきもの	・三大随筆の理解 ・形容詞、形容動詞の理解と定着 ・本文での「用言」の文法的説明の定着		9
	7	漢文入門 故事成語	漢文を読むために1～5 『戦国策』 漁父之利	・返り点、助字、置き字、再読文字の理解 ・書き下し文のきまりの理解 ・再読文字、可能、反語等の句法の理解と定着 ・書き下し文の定着		
	8	故事成語	『戦国策』 狐借虎威	☆否定形、禁止形 ☆疑問形、反語形 ☆使役形	7	
後期	9	小説(一)	『羅生門』	・作者、文学史の理解 ・漢字、語彙の定着 ・心情を読み取る技能の理解と定着	23	後期中間 考查
	10	歌物語	『伊勢物語』 芥川 筒井筒	・平安物語の流れと歌物語の理解 ・本文での「用言」と「助動詞」の文法的説明の定着 ・和歌の技法の理解		
		史伝	☆『十八史略』 先從隗始	☆抑揚形、比較形	12	
	11	日記	『土佐日記』 門出	・日記、紀行文の理解 ・本文での「用言」と「助動詞」の文法的説明、識別の定着		
	12	漢詩	☆唐詩の世界 春暁 静夜思(五言絶句) 送元二使安西(七言絶句) 八月十五日夜(七言律詩)	・漢詩の種類と構成の理解 ・押韻、対句等の理解 ・李白、杜甫についての理解 ・漢詩の種類と構成の定着 ・押韻、対句等の定着 ・作者の状況と心情の理解	10	後期期末 考查
		和歌	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	・三大和歌集の理解 ・和歌の技法の理解 ・文法、語彙の知識の活用	20	
		詩	一つのメルヘン 自分の感受性くらい	・詩の形式と種類の理解 ・作者についての理解 ・情景と作者の心情の理解		
1						
	2					
	3					